

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	言語文化学コース(言語学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)									
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
<p>【学類のCP】 人文学類の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学・漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>		<p>コトバと文学の科学研究にとつて必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>									
専門分野のカリキュラム											
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期						
11050	言語学概論1	・言語学の基本的な概念と考え方を理解する。 ・多様な言語の実例と理論のエッセンスに触れる。 ・音韻論、形態論、統語論などの分野の基礎固めをする。	1	*		◎			○		
11051	言語学概論2	・言語学の基本的な概念と考え方をさらに理解する。 ・多様な言語の実例と理論のエッセンスについて更に学ぶ。 ・意味論、社会言語学、比較言語学などの分野の基礎固めをする。	2		*	◎			○		
42501	言語学史	・言語研究の歴史的な流れを理解する。 ・言語学の基礎をなす考え方がどのように現れてきたのかを学ぶ。 ・言語学の古典的な著作に触れる。	2		*	○					○
42502	比較言語学	・言語の歴史的研究についての理解を深める。 ・原典講読を通じて、言語間の比較研究のあり方、方法論を理解する。	2,3		*	○			○		◎
42503	社会言語学	・言語と社会のかかわりについて学ぶ。 ・言語の多様性、非等質性を理解する。 ・社会言語学におけるデータの分析方法を身につける。	2,3		*	○			◎		○
42504	言語理論研究A	・言語学の特定の理論について基本を理解する。 ・その理論に基づいた言語データの分析方法を学ぶ。 ・分析結果を討論し意見のまとめ方を身につける。	2		*	○			○		○
42505	言語理論研究B	・言語学の特定の理論について基本を理解する。 ・その理論に基づいて言語データの分析方法を学ぶ。	2,3		*	○			○		○
42506	音声学1	・言語音の産出の仕組みを理解する。 ・個別子音の聞き取り、産出、記述が出来るようになる。	2,3		*	◎			○		○
42507	音声学2	・個々の言語音の聞き取り、産出、記述に更に習熟する。 ・プロソディーについての理解を深める。	2,3		*	◎			○		○
42508	ヨーロッパの諸言語1	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2,3		*	○	◎		○		
42509	ヨーロッパの諸言語2	・対象言語の文法解析ができるようになる。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2,3		*	○	◎		○		
42510	アジア・アフリカ等の諸言語1	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	3,4		*	○	◎		○		
42511	アジア・アフリカ等の諸言語2	・対象言語の文法解析が出来るようになる。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	3,4		*	○	◎		○		

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	言語文化学コース(言語学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文学類の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学的研究にとつて必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>
---	--

専門分野のカリキュラム

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期	◎	○	△	◎	○	△
42512	個別言語論1	・タイプの異なる言語の学習を通じて、客観的に言語をみる姿勢を身につける。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	3,4	*		○	○	◎			
42513	個別言語論2	・タイプの異なる言語の学習を通じて、母語への意識を深める。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	3,4		*	○	○	◎			
42514	音韻論基礎	・音韻論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた音韻分析の方法を学ぶ。 ・音韻分析の基本を身につける。	2	*		◎			○		○
42515	音韻論研究	・音韻分析の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた音韻分析の実際を学ぶ。 ・音韻分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2,3	*	*	○			◎		○
42516	形態論基礎	・形態論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた形態分析の方法を学ぶ。 ・形態分析の基本を身につける。	3,4	*	*	◎			○		○
42517	形態論研究	・形態論の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた形態分析の実際を学ぶ。 ・形態分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2,3	*	*	○			◎		○
42518	統語論基礎	・統語論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた統語分析の方法を学ぶ。 ・統語分析の基本を身につける。	3,4	*	*	◎			○		○
42519	統語論研究	・統語分析の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた統語分析の実際を学ぶ。 ・統語分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2,3	*	*	○			◎		○
42520	意味論基礎	・意味論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた意味分析の方法を学ぶ。 ・意味分析の基本を身につける。	3,4	*	*	◎			○		○
42521	意味論研究	・意味分析の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた意味分析の実際を学ぶ。 ・意味分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	3	*	*	○			◎		○
42522	フィールド言語学	・フィールドワークの意義を考える。 ・フィールドワークに出る前のスキルを身につける。 ・データのまとめ方とプレゼンの方法を学ぶ。	2		*	○			○	◎	
42523	フィールド言語学実習	・フィールドに出て調査の実際を体験し、技術を磨く。 ・収集したデータの扱い方を学ぶ。 ・データのまとめとプレゼンを行えるようにする。	4	*		○			◎	○	
42524	応用言語学実習	・言語音の物理的性質の基礎を学ぶ。 ・PCを用いた分析方法を身につける。 ・言語分析に用いる動画・音声などコンテンツの扱いに慣れる。	4		*	○			◎	○	

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	言語文化学コース(言語学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学研究にとつて必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>
---	---

専門分野のカリキュラム

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期	◎	○	△
31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*			○	◎
31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。	4		*	◎	○	◎
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文学の学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。	4		*		○	○
11001	人文学序説1	・人文学の専門分野で学ぶ内容の概要を把握する。 ・人文学類における学問の全体をイメージできるようになる。	1	*		◎		
11002	人文学序説2A	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・ラボラトリ(実験)、テキスト(文献読解)、サーベイ(調査と分析)、フィールド(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	◎		
11003	人文学序説2B	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・人文学の基礎的素養としての歴史学について、歴史資料の捉え方、研究の課題、研究方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	◎		
11004	人文学序説2C	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・人文学の基礎的素養としての言語学・文学について、基本的な視座や研究方法についての基礎的な知識を理解する。	1		*	◎		
11005	学類共通英語1	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	2		*			○
11006	学類共通英語2	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・「学類共通英語1」より高いレベルで、英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3	*				○